

# デジタルインフラの守護神「サイバーセキュリティー」

インフラ関連グローバル株式ファンド 愛称 にいがたインフラサポート  
追加型投信／内外／株式

2022年4月21日

- ・インフラ関連グローバル株式ファンド（愛称 にいがたインフラサポート）は、【防災・減災】【環境】【医療】【デジタル】に関するインフラ関連株に投資を行っています。
- ・本レポートでは、デジタルインフラ安全性の守護神とも言える「**サイバーセキュリティー**」の成長性と組入銘柄についてご紹介いたします。

## サイバーセキュリティーとは？

サイバーセキュリティーとは、インターネット上のサイバー空間にある情報等を意図的に抜き取り流出させたり、改ざんするなど生活インフラへの攻撃、使用者側に損害を与える行為・攻撃（＝サイバー攻撃）から守ることをいいます。

当ファンドでは、PCやスマートフォン、IoT機器などの電子・通信機器向けにウイルス対策ソフトなどを提供する企業やサイバー攻撃に強い製品・サービスを提供する企業を投資対象としています。

## 国家、企業、個人・・・あらゆる組織・個人が攻撃対象に

### 安全保障レベルに発展

今年2月24日のロシアによるウクライナ侵攻を前に、ロシア国内からのウクライナへのサイバー攻撃が頻発したと言われています。

ウクライナの発電所などのインフラ施設や行政・軍事システムにサイバー攻撃を仕掛けることで、実戦を前にウクライナ国内のインフラシステムにダメージを負わせ、戦争を有利に進める思惑があったと言われており、新たな戦争の形である「サイバー戦」への備えも重要な課題となっています。

### 生活インフラへの攻撃

2021年5月、アメリカ最大級の石油パイプラインを運営するコロニアル・パイプライン社がランサムウェア攻撃(金銭目的)を受け、エネルギーを供給する電力システムが停止、5日間の操業停止に追い込まれ、さらに解決のために、440万米ドルの身代金を支払いました。

重要な生活インフラであるエネルギー企業を狙うことにより多くの市民や産業の安全な生活や経済活動を脅かされたことで、米国国内では、サイバー攻撃対策への法案整備が進み、企業も対策へのさらなる投資が必須となっています。

▶ 近年、国内外でサイバー攻撃が多発しています

図表1 サイバー攻撃通信量※

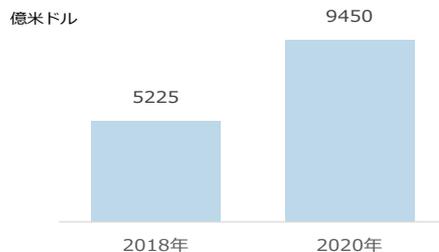


(出所)各種資料から岡三アセットマネジメント作成

※NICTER(大規模サイバー攻撃観測網)で1年間に観測された国内外からのサイバー攻撃関連の通信数

▶ 金銭や事業停止目的としたサイバー攻撃で、損害額が急増しています

図表2 サイバー犯罪損害額※



(出所)各種資料から岡三アセットマネジメント作成

※世界のサイバー犯罪による損害金額

### <本資料に関してご留意いただきたい事項>

■本資料は、情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものではありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みに当たっては、投資信託説明書（交付目論見書）をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。

## 【銘柄紹介】サイバーセキュリティ界のリーディングカンパニー

### パロアルトネットワークス (米国)

- 【事業】 グローバルに展開するサイバーセキュリティ企業
- 【事業詳細】 望ましくないアプリケーションを識別・制御し、コンテンツのスキャンによる脅威の防止、データの漏洩を防止する次世代型ファイアウォールを提供。サブスクリプションとサポート・保守メンテナンス収入が収益源
- 【投資の魅力】 セキュリティーやクラウド・ビッグデータ、5G需要拡大が追い風となり売上拡大が見込まれる

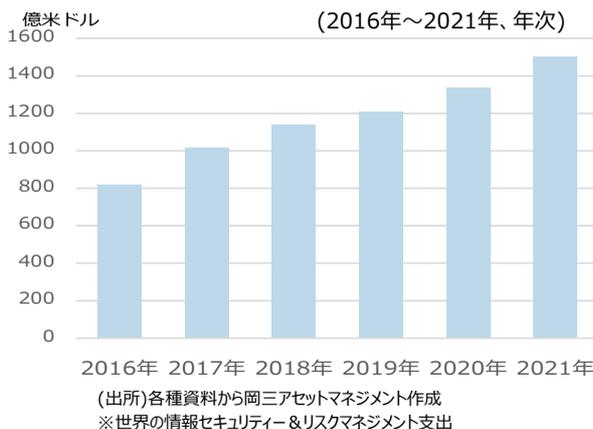
- モノのインターネット化(IoT)が急速に進み、セキュリティ対策が必要なデバイス(電子機器)が急増しています
- パロアルトネットワークスは、ファイアウォール型サイバーセキュリティで世界有数の顧客数を誇ります

### 多くの顧客を獲得

- 150カ国以上65,000社を超える顧客を獲得
- 世界の大企業から構成されるFortune100のうち85社を超える企業、およびGlobal2000\*の63%以上の企業がパロアルト製品でサイバーセキュリティ体制を構築

\* フォーブス誌が発表した世界のトップ企業2000社。

図表3 セキュリティー関連支出\*



### 堅調な成長予想と株価推移

図表4 売上高と1株当たり利益推移



図表5 株価推移



#### <本資料に関してご留意いただきたい事項>

■本資料は、情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものではありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みに当たっては、投資信託説明書（交付目論見書）をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。

## 豊かな未来へと導く4つのインフラ



### 防災・減災インフラ

- 災害に強いインフラ強靱化は世界共通の課題
  - ✓ 地形・耐久性調査
  - ✓ 災害予測
  - ✓ 耐久性強化工事技術
  - ✓ 被災地復旧工事技術

#### 具体例事業

- ・ エンジニアリング
- ・ 補修・復旧機器・サービス
- ・ ソフトウェア・システム
- ・ ドローン・救助用ヘリ



### 環境インフラ

- 脱炭素化で地球温暖化を防ぐ技術開発が急務
  - ✓ 炭素排出量削減技術
  - ✓ 省エネ技術
  - ✓ 新エネルギー技術

#### 具体例事業

- ・ EV(電気自動車)
- ・ 風力・太陽光等のクリーンエネルギー
- ・ 環境コンサルティングサービス



### 医療インフラ

- 医療技術の進歩が医療インフラの成長を加速させる
  - ✓ 医療のデジタル化(遠隔医療、ビッグデータ活用)
  - ✓ 免疫細胞技術・mRNAなどの新技術応用の新薬開発
  - ✓ 手術用ロボットなどのテクノロジー

#### 具体例事業

- ・ 病院などの医療施設・機関
- ・ 医薬品
- ・ 医療機器・器具
- ・ 医療コンサルティングサービス



### デジタルインフラ

- 5G技術などの発展により、デジタルインフラへの投資が年々拡大
  - ✓ 大容量高速通信技術
  - ✓ 5G
  - ✓ DX(デジタルトランスフォーメーション)
  - ✓ 新技術(メタバース、決済等)

#### 具体例事業

- ・ 半導体
- ・ 通信
- ・ データセンター
- ・ サイバーセキュリティ

※各テーマの事業例は参考であり、今後変更になる場合があります。

## 今後の運用方針

当ファンドが投資対象とするインフラ関連企業には、4テーマ毎に高い技術力、商品開発力、競争力を持つ企業が多く存在し、関連企業の株式への長期的な資金流入が期待できます。

【防災・減災】には、災害に強い橋や道路、建物などの建設ニーズや老朽化対策、さらに新興国の都市計画などの需要があります。【環境】には、地球温暖化対策として「脱炭素化」がキーワードとなり、クリーンエネルギーや新エネルギー、EVなどの新技術の発展が期待できます。【医療】では、がんや生活習慣病などの幅広い分野での新薬の開発が見込まれるほか、テクノロジーを利用した医療機器市場などにも注目しています。【デジタル】では、5Gや半導体などの「次世代型インフラ」は次々と新しいサービスや技術が誕生しており、市場拡大が継続して期待できます。

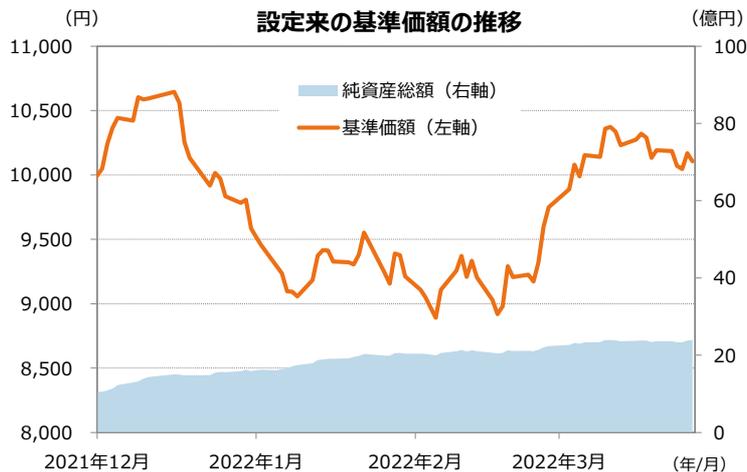
銘柄選定において、事業内容、成長性、収益性、財務状況などを勘案し、バリュエーションや流動性を考慮しながら、中長期的な視点から、ポートフォリオを構築することによって、世界経済の成長に伴う長期で安定的なリターンを享受できるものと考えます。

#### ＜本資料に関してご留意いただきたい事項＞

■本資料は、情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものではありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みにあたっては、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。

インフラ関連グローバル株式ファンド 愛称 にいがたインフラサポート  
 追加型投信／内外／株式

## 基準価額と純資産推移



## ファンドデータ (2022年4月15日現在)

基準価額	10,106円
純資産総額	23.9億円

期間：2021年12月20日～2022年4月15日、日次

## ポートフォリオ情報

## 組入上位10銘柄 (2022年4月15日現在)

	銘柄名	テーマ	国・地域
1	H C Aヘルスケア	医療インフラ	米国
2	マイクロソフト	デジタルインフラ	米国
3	テスラ	環境インフラ	米国
4	ユニバーサル・ヘルス・サービスズ	医療インフラ	米国
5	ヴェスタス・ウィンド・システムズ	環境インフラ	デンマーク
6	アップル	医療インフラ	米国
7	アメリカン・タワー	デジタルインフラ	米国
8	ファイザー	医療インフラ	米国
9	日立製作所	防災・減災インフラ	日本
10	ジェイコブズ・エンジニアリング・グループ	防災・減災インフラ	米国

※上記テーマ分類は、当社独自の考え方により銘柄を分類しているものです。

作成：運用本部

## &lt;本資料に関してご留意いただきたい事項&gt;

■本資料は、情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものでもありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みにあたっては、投資信託説明書（交付目論見書）をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はおお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。



インフラ関連グローバル株式ファンド 愛称 にいがたインフラサポート  
追加型投信／内外／株式

インフラ関連グローバル株式ファンドに関する留意事項

【岡三アセットマネジメントについて】

商号：岡三アセットマネジメント株式会社

岡三アセットマネジメント株式会社は、金融商品取引業者として投資運用業、投資助言・代理業および第二種金融商品取引業を営んでいます。登録番号は、関東財務局長（金商）第370号で、一般社団法人投資信託協会および一般社団法人日本投資顧問業協会に加入しています。

【投資リスク】

- 投資者の皆様は投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。投資信託は預貯金と異なります。投資信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者の皆様へ帰属します。ファンドは、国内外の株式等値動きのある有価証券等に投資しますので、組入れた有価証券等の価格の下落等の影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産に投資しますので、為替相場の変動により損失を被ることがあります。
- ファンドの主な基準価額の変動要因としては、「株価変動リスク」、「為替変動リスク」、「信用リスク」があります。その他の変動要因としては「流動性リスク」があります。

※基準価額の変動要因は上記のリスクに限定されるものではありません。

【その他の留意点】

- ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリングオフ）の適用はありません。
- 投資信託は預金商品や保険商品ではなく、預金保険、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関が取扱う投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。
- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、ファンドの純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合があるため、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。また、投資者の購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりがあった場合も同様です。
- 取引所における取引の停止、外国為替取引の停止、決済機能の停止、その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金申込みの受付を中止することや、すでに受付けた購入・換金申込みの受付を取消することがあります。
- 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「投資リスク」をご参照ください。

【お客様にご負担いただく費用】

<お客様が直接的に負担する費用>

- 購入時
  - 購入時手数料：購入金額（購入価額×購入口数）×上限3.3%（税抜3.0%）  
詳しくは販売会社にご確認ください。
- 換金時
  - 換金手数料：ありません。
  - 信託財産留保額：ありません。

<お客様が信託財産で間接的に負担する費用>

- 保有期間中
  - 運用管理費用（信託報酬）： $\text{純資産総額} \times \text{年率} 1.705\%$ （税抜1.55%）
- その他費用・手数料
  - 監査費用： $\text{純資産総額} \times \text{年率} 0.0132\%$ （税抜0.012%）
- 有価証券等の売買に係る売買委託手数料、信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用、海外における資産の保管等に要する費用等を信託財産でご負担いただきます。（監査費用を除くその他費用・手数料は、運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことはできません。）

- お客様にご負担いただく費用につきましては、運用状況等により変動する費用があることから、事前に合計金額もしくはその上限額またはこれらの計算方法を示すことはできません。

● 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「手続・手数料等」をご参照ください。

**販売会社**

受益権の募集の取扱い、投資信託説明書(交付目論見書)、投資信託説明書(請求目論見書)及び運用報告書の交付の取扱い、解約請求の受付、買取請求の受付・実行、収益分配金、償還金及び解約金の支払事務等を行います。

商号	登録番号	加入協会			
		日本証券業協会	一般社団法人 日本投資 顧問業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種金融商品 取引業協会
<b>(金融商品取引業者)</b>					
岡三にいがた証券株式会社	関東財務局長(金商)第169号	○			

**<本資料に関するお問合わせ先>**
**フリーダイヤル 0120-048-214 (9:00~17:00 土・日・祝祭日・当社休業日を除く)**